

めぐみ在宅クリニック の理念

どこで生活をしていても、どんな病気であっても、安心して最期を迎えることができる社会を目指します。この理念をかなえるために、地域で悩み苦しむ患者さん・家族への支援に努めていきます。さらに地域で支援に当たる人材育成に努めます。

めぐみ在宅クリニック 院長 小澤竹俊

<平和の祈り>

主よ、
わたしをあなたの平和の道具としてお使いください。
憎しみのあるところに愛を
いさかいのあるところに許しを、
分裂のあるところに一致を、
疑惑のあるところに信仰を、
誤りのあるところに真理を、
絶望のあるところに希望を、
闇のあるところに光を、
悲しみのあるところに喜びを、
もたらすものとしてください。
慰められるよりも、慰めることを、
理解されるよりも、理解することを、
愛されるよりも、愛することを求めさせてください。
わたしたちは与えるので受け、
許すので許され、
自分自身を捨てることによって、
永遠の命をいただくのですから。

アッシジの聖フランシスコ

めぐみ在宅クリニック 診療予定表							
	月	火	水	木	金	土	日
午前 (9時~12時)	一般外来	緩和ケア 外来 (要予約)	訪問診療	一般外来	休診	訪問診療	休診
午後 (14時~17時)	訪問診療	訪問診療	訪問診療	訪問診療	休診	休診	休診

めぐみ在宅クリニックまでの交通案内

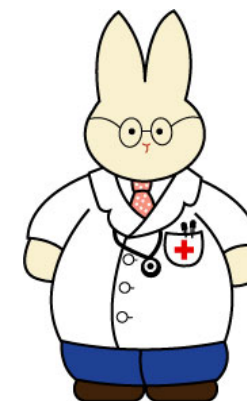
- ◆羽田空港より
 - ・京浜急行で横浜駅へ
 - ・エアポートリムジンでYCAT（横浜駅東口）へ
- ◆東海道新幹線 新横浜駅より
横浜市営地下鉄で横浜駅へ
- ◆横浜駅より
相鉄線 大和・海老名方面
瀬谷駅南口下車 徒歩10分
- ◆お車で
東名高速道路 横浜インターより約20分
厚木街道と環状4号線の瀬谷4丁目交差点そば



2010年10月1日より下記へ移転しました。



めぐみ在宅 クリニック



めぐみ在宅クリニック
院長 小澤 竹俊

横浜市瀬谷区橋戸2-4-3

Tel 045(300)6630

Fax 045(300)6631

<http://www.4.ocn.ne.jp/~zaitaku/>

メール: megumi_zaitaku@miracle.ocn.ne.jp

悩み苦しむ人のために

在宅医療 Q&A

世の中で、一番苦しんでいる人のために働きたいと願い、医師となりました。そして、医療過疎地で従事した後、終末期医療に従事する目的で、平成6年より平成18年9月までホスピス病棟を有する横浜甞生病院にて診療にあたってきました。

ホスピス在籍12年の間、約1300人の患者さんの看取りを通して、緩和ケアの大切さを学びました。ホスピス病棟は、がんとエイズの患者さんしか入院できません。がんだけではなく、どんな病気でも、安心して最期を迎えることができる地域にしたい、この思いから、在宅緩和ケアを専門にするめぐみ在宅クリニックを開業いたしました。

入院ではなく自宅や介護施設で生活をおくる患者さん・家族のために積極的に訪問診療を行い、緩和ケアを行って参ります。また、地域での生活支援を行っている往診医、訪問看護師、ケアマネージャー、ホームヘルパー、薬剤師等との連携を深めて、地域での緩和ケアチームを構成して参ります。そして、どこで生活をしていても、どんな病気であっても、安心して最期を迎えることができる社会を目指します。この理念をかなえるために、地域で悩み苦しむ患者さん・家族への支援に努めていきます。地域で支援に当たる人材育成に努めます。

めぐみ在宅クリニック 院長 小澤竹俊

小澤竹俊：医学博士 総合内科専門医
 昭和62年 東京慈恵会医科大学卒・平成3年 山形大学大学院卒
 専門：ホスピス・緩和ケア、スピリチュアルケア、いのちの教育
 主な著書：苦しみの中でも幸せは見つかる（扶桑社）
 13歳からの「いのちの授業」（大和出版）
 苦しむ患者さんから逃げない！医療者のための実践スピリチュアルケア
 （日本医事新報社）

Q1. 在宅でどんなことができますか？

たとえ在宅であっても、痛みや呼吸苦など苦痛の緩和はかなりの範囲で提供できます。痛みや苦しみをなく穏やかに過ごすことが可能な時代となりました。身体の状態によっては、在宅で酸素や点滴を受けることができます。生活面でも、介護保険などを利用して様々な生活援助を受けることができます。しかし、病院とまったく同じケアが行えるわけではありません。制限の多い病院では、安心して身体の管理をまかせることができますが、自由の多い在宅では、患者さん・家族による管理が求められます。それぞれの希望に添って、どこの場所で、どのようなケアを受けていくことが望ましいのかについて、一緒に考えていきましょう。そして、そのときに一番良いと思う選択肢が選べるようにサポートしていきたくと考えています。



Q2. 入院が必要なときはどうするのですか？

在宅での療養が困難なときには、提携先である横浜甞生病院に入院できるように配慮をいたします。しかし、満床などの理由で横浜甞生病院に入院できない場合には、近隣の入院できる病院と連携を取るよう配慮いたします。

Q3. どこまで訪問してくれますか？

瀬谷区、旭区、泉区を中心に半径5km内を訪問しています。特に緩和ケアを必要とする場合には、上記以外の地域にも訪問を考慮します。ご相談ください。

Q4. 家で最期を迎えることはできますか？

家であっても、いくつかの工夫さえすれば、痛みや苦しみを和らげ、穏やかな最期を迎えることができます。穏やかな生活を送ることができるように、医療面、生活面の両方から様々な援助を行っていきます。

Q5. お金はどのくら必要ですか？

在宅での療養は、1月に訪問する回数や治療内容（在宅酸素・中心静脈栄養など）で医療費が変わります。また、加入している医療保険負担の割合（1割から3割）、身障手帳の有無などにより負担額が変わってきます。おおよそですが、5千円から5万円とお考えください。

Q6. どうすれば受診できますか？

まず電話にてご相談ください。予約制の緩和ケア外来にて対応いたします。緊急性の高い場合には、早急に訪問診療を予定します。

臨床実習について(お願い)

めぐみ在宅クリニックでは、地域での診療を積極的に行うと同時に、緩和ケアの教育活動を理念とし活動しております。具体的には在宅診療にあたる医師・研修医・看護師・地域で援助にあたる援助者に対し、緩和ケア教育及び研修を行っております。

いつの日か、温かい心を持った医療者が多く現れ、患者さん・ご家族と誠実に向き合うことができる真の援助者が増えていくという夢があります。

つきましては、在宅診療にあたる医師・研修医等が診療チームの一員として、指導医と共に患者様の診療に参加させていただくことをご承諾くださいますようお願い申し上げます。